

ポケット版

笠置 京都かさぎ ハイキングマップ付



■JR関西本線「笠置」下車
京都から(JR奈良線木津駅) 1時間30分
大阪から(JR関西本線) 1時間
奈良から(JR関西本線) 30分
名古屋から(JR関西本線) 2時間30分

マイカー
国道24号山城から163号で14km
大阪から 約1時間30分
奈良から 約30分
京都から京奈和道路山田川IC 経由
約1時間
名古屋から 約3時間



お問い合わせは

笠置町役場

〒619-1393 京都府相楽郡笠置町西通90-1

電話 (0743)95-2301

<http://www.town.kasagi.lg.jp>

一般観光笠置 (笠置町産業振興会館内)

〒619-1303 京都府相楽郡笠置町佃46

電話 (0743)95-2011

<http://www.kankou.kasagi.com>

笠置町商工会

〒619-1303 京都府相楽郡笠置町佃3-1

電話 (0743)95-2159

<http://kasagi.kyoto-fsci.or.jp>



笠置
わかさぎの
はばたくまち



町の木「みやまつじ」
ツツジ属の木で、
紫八染(むらさきやしお)ともいう。
5~6月、葉に先立って枝先に
濃い紅紫色の美しい花を咲かせる。



町の花「桜(染井吉野)」
春、笠置山を薄紅色に染める2000本余の桜。
早朝や夕暮れ時、薄墨のなかに桜色の霞みが
浮かぶように見える山々の美しさは格別。



町の鳥「鳩(うぐいす)」
鳩は、春を知らせる鳥として知られ、
笠置町では3月頃からさえずりが聞こえる。



笠置のあらまし



笠置曼陀羅図（重文）
大和文華館所蔵

京都府最南端、相楽郡東部に位置し、東は南山城村、西は木津川市加茂町、北は和束町、南は奈良市に接しています。南に笠置山系、北に国見岳に連なる山々がせまり、その間に木津川が流れ、そのため平地が極端に少なく、地形全体が渓谷的な様相を呈しておらず、いたる所で巨岩奇石が見られます。

笠置は東大寺造営にあたっての良弁僧正の木津川開削伝承から、すでに奈良時代木津川上流から伐り出した材木を木津まで筏流しする途中の津（港）としての役割を担い、東大寺との結びつきも強く、古代・中世を通して東大寺領の笠置庄として繁栄しました。

笠置の象徴である笠置山（標高288m）は、巨石の前から、弥生時代の有柄式石剣が出土し、古来より自然崇拜が行わっていたことがわかつています。

奈良時代中期のものと推定される笠置寺の本尊である弥勒大磨崖仏や虚空藏の磨崖仏などは古来の磐座信仰と仏教思想が一体となつたもので、平安時代の末法思想に伴う弥勒信仰の隆盛により鎌倉時代まで、天皇、公家をはじめとする「笠置詣で」が全盛を極めました。枕草子にも「寺は壺坂、笠置」と書かれおり、修驗場としても吉野、大峰と並び多くの修行者が訪れたのですが、後醍醐天皇が笠置山を要塞として行在所を置いたことによつて鎌倉幕府との攻防戦の舞台となり、全山焼失し衰退しました。

笠置寺縁起



南都東大寺へ木材搬出の図



天智天皇の皇子遊獵の図

東大寺建立の時、木津川が岩で塞がっていたので用材を運ぶために舟を積み、舟を支撐するため木を運んで河中に沈めた。これが現在の木津川の由来である。



笠置山探訪

笠置山は小さな山だが、多くの歴史と浪漫を秘めた素敵な散策コース。

聖地と巨石信仰 D-8

古く二千年前から笠置山の巨石や奇石は信仰の対象でした。巨石の前からは弥生時代の有柄式石剣も発見されており、山腹にある笠置寺の本坊を北に行くと見あげるような花崗岩の巨岩が連立する領域です。巨石には弥勒石、薬師石、文殊石といった名が伝えられ、それらの像が彫られていたと

いうが定かでなく、弥勒石は高く、弥勒石は高

彫られていたと

いうが定かでなく、弥勒石は高



笠置寺
弥勒石
有柄式石剣

行場めぐり D-8

行場めぐり D-8

（1538年）

の建みをたたくと音のする太鼓石があり、不思議な響きがします。視界が広がる

道を下れば岩

から行場として知

られ、胎内くぐり

は修行場への入口。

10数mの岩のトンネルをくぐることによつて身を清めま

す。道を下れば岩

から行場として知

られ、胎内くぐり

は修行場への入口。

（1538年）

の建みをたたくと音のする太鼓石があり、不思議な響きがします。視界が広がる

道を下れば岩

から行場として知

られ、胎内くぐり

は修行場への入口。

（1538年）

の建みをたたくと音のする太鼓石があり、不思議な響きがします。視界が広がる

道を下れば岩

から行場として知

られ、胎内くぐり

は修行場への入口。

六つに切りこまれた珍しい意匠で、日本に一つしかない中国形式の鐘です。銘文も底縁に刻まれています。



笠置寺収蔵庫には8世紀インド伝来とする銅製釈迦誕生仏、藤原時代の造立と伝えられる木造十一面観音立像、天文7年

書写の奥書がある

起など多数の

笠置寺縁起・弥勒石仏彫刻図

ある笠置寺縁

部は展示され

ています。

木造十一面観音立像

銅製釈迦誕生仏



笠置寺
弥勒石
有柄式石剣

（1538年）

の建みをたたくと音のする太鼓石があり、不思議な響きがします。視界が広がる

道を下れば岩

から行場として知

られ、胎内くぐり

は修行場への入口。

（1538年）

の建みをたつくと音のする太鼓石があり、不思議な響きがします。視界が広がる

道を下れば岩

から行場として知</p

笠置の史跡に心をまかせて

笠置山の東北部、飛鳥路の谷間にある天照御門神社(1-6)は春日造りの古社で、太陽神と岩の神を合わせ持つ森の中の趣のある社です。



大般若586帖

明寺(1-6)には、大般若経586帖が伝えられ、古くは天平時代から室町時代までの写経の記録があります。



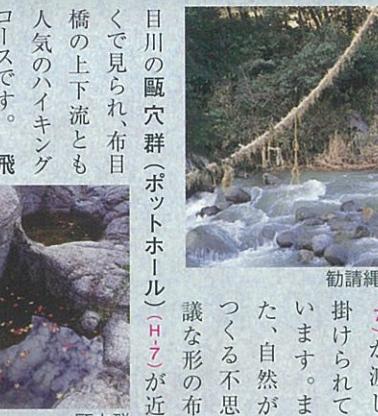
大般若経586帖

物館と山城資料館に寄託)が伝えられ、古くは天平時代から室町時代までの写経の記録があります。



大般若経586帖

東西にそれぞれ坊跡、石仏群があり、近年、中国・宋時代のものと思われる小さな銅造聖観音像が東の坊から発見されました。布目川が木津川と合流するあたりの溪谷を町立布目川公園といい、川には年の始めに悪霊の退散を願つて藁で作った陰陽の作りものや農作業具の作りものを吊り下げた約30mの勧請縄(H)が伝えられています。



勧請縄

木津川の甌穴群

笠置の自然と歴史に心をまかせて

ここに彩なす笠置の四季

笠置は京都と奈良の間、木津川上流の山峡に歴史とロマンを素朴にただよわせる静かな史跡と景勝の里です。

近頃、四季がどこかに消えたといわれますが、国の史跡名勝に指定されている笠置山のあるここでは、全身で四季を感じることができます。冬の底冷えが木津川の流れにはころびて静寂の里に春がやってくると、二千本もの桜が花開き、光と風に揺らいで山々を薄紅に染めます。桜吹雪が清流に舞い、まさに春爛漫。さくらまつりは、京阪神、名古屋方面からの花見客でにぎわいます。

青葉若葉が目にやさしく、小鳥のさえずりが木々にとびかう初夏。六つのハイキングコースには新緑の香りを胸一杯に、山吹の花、町の花ミヤマツツジなどを楽しむハイカーの声がはずみ、豊かな木津川の流れは、腰までつかって鮎を釣る人達の天国、アユ解禁です。

笠置の盛夏、蝉の声を耳にして、山頂の風に吹かれ木津川を望むと、川原ではキャンプのテントが色々やかに張られ、夏の陽ざしにキラキラ輝く川面を

カヌーがすべっています。笠置大橋の近くは太陽と水に遊ぶ人達で賑い、灯ろう流しの祈りの火が清流にゆれ長い帶をつくると笠置の秋がもうすぐやってきます。秋まつりを祝う太鼓が轟き、泣き相撲の子の声が空に響くと、笠置の山々は金色に染まり錦織りをまとい、秋の笠置ではすることがいっぱい。紅葉狩り、スケッチ、史跡を散策するもよし、食欲の秋を堪能するにはうってつけの味覚の宿があり、アウトドアスポーツに快汗するには場所に

ことかきません。

チラホラ舞う雪が湯上がりの頬に心地よい冬は鍋料理の本格的シーズンです。味覚の里の味自慢名物きじ料理をはじめ、ぼたん鍋、かも鍋などが並ぶ料理の数々。家族連れ、グループの宴は静かな笠置の叙情にやさしきつまれます。

笠置の主な年中行事

■笠置さくらまつり(4月第1日曜日) ■木津川のアユ解禁(6月中旬)

■笠置夏まつり(8月第1土曜日) ■笠置灯ろう流し(8月16日)

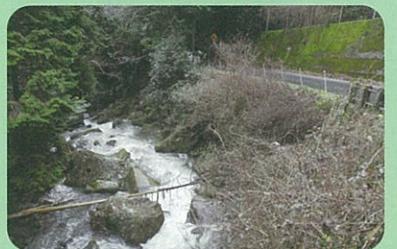
■笠置もみじまつり(11月第3日曜日)

■全国ご当地鍋フェスタ「鍋一グランプリ」

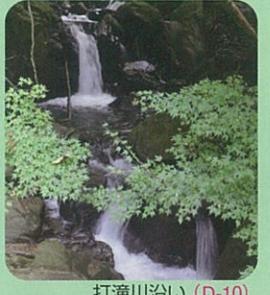
(12月第1日曜日)

笠置 自然とのふれあいハイキングコース

緑のしぶきコース
片道 5km 60分

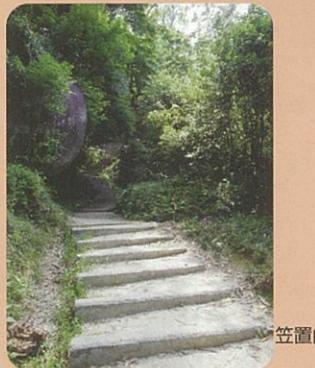


打滙峯 (E-11)



打瀧川沿い (D-10)

史の道コース
片道5km 80分



笠置山登山道
(D-8)



卷之三

This map illustrates the Kizugawa River area with several walking routes and landmarks. The routes are color-coded and numbered:

- ① 緑のしぶきコース (片道 5km 60分): 笠置山登山口 → 打滝川沿い → 打滝峠 → 鹿鳴橋 → (柳生)
- ② 史の道コース (片道 5km 80分): 笠置山登山口 → 旧登山道(東海自然歩道) → 笠置山 → 鹿鳴橋
- ③ 銀の帯コース (片道 4km 60分): 笠置大橋 → 木津川南岸沿い → 発電所 → 眇穴 → 勧請縄 → 飛鳥路
- ④ 布目川散策コース (片道 5km 60分): 飞鳥路 → 布目川沿い → 奈良市柳生下町経由 → 鹿鳴橋
- ⑤ 木津川横断コース (片道 4km 60分): 飞鳥路 → 天照御門神社・東明寺 → 木津川潜没橋 → 国津神社 → 法明寺 → 下有市
- ⑥ 横川散策コース (片道 7km 150分): 下有市山神社 → 勝楽寺 → 横川沿い → (童仙房)

Key landmarks shown include:

- 八幡宮 (Hachiman Shrine)
- 常樂院 (Chōraku-in)
- 切山 (Kizugawa)
- 北笠置 (Kita-Kizugawa)
- 三神宮 (Sankō Shrine)
- 笠置町役場 (Kizugawa Town Hall)
- 笠置グランドゴルフコース (Kizugawa Grand Golf Course)
- 笠置キャンプ場 (Kizugawa Campground)
- 山神社 (Yamashinsha Shrine)
- 長山寺 (Nagayama-ji)
- 笠置会館 (Kizugawa Kinenkan)
- 飛鳥路 (Asuka-no-michi)
- 眇穴群 (Mioke-gumi)
- 163 (Route 163)
- 木津川潜没橋 (Kizugawa Submergence Bridge)
- 法明寺 (Fukyō-ji)
- 住吉神社 (Suwa Shrine)
- 勝楽寺 (Seigaku-ji)
- 国津神社 (Kitsunomiya Shrine)
- 至童仙房 (To Tōshokan)
- 至伊賀上野 (To Iga Ueno)

A north arrow is located in the upper right corner.

市目川の勧請縄 (H-7)

布目川には年のはじめに悪霊の退散を願って藁で男女をあらわす物と幣が交互につけられた勧請縄が張り替えられます。



**布目川散策コース
片道 5km60分**



布目川沿い (H-10)



布目川散策コースを案内する道標 (H-11)

木津川横断コース
片道 4km 60分



横断コース道(H-6)



